

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	姉妹都市行政視察団友好交流事業	所管	市民経済部 コミュニティ推進課
			TEL 2998-9083

事業の目的 (何の為に 行うか)	派遣先都市の都市行政組織や仕組みなどを比較研究し、良い点を当市の行政に活かす。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市職員	対象とした数	2,673	人
		実際に 利用した数	4	人

活動の内容	(何を したか)	当市から相手都市を訪問する派遣事業については、隔年で実施しており、3日間の日程で、特筆すべき部門や事項などを調査・研究するとともに、人的な繋がりも深めることによって、今後の友好交流が円滑に進む。また、受け入れ事業については、該当市の良い所、特徴のある箇所を積極的にアピールできる。										
活動実績	項目名	常州市への行政職員の派遣	2	単位	人	項目名	安養市への行政職員の派遣	2	単位	人	項目名	単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	765	755	3,104	9.2

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	姉妹都市間の行政視察団の数	派遣・受け入れ回数	10	4	40.0
			単位 回	単位 回	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	030100	凡	2998-9083
事業コード	姉妹都市行政視察団友好交流事業		市民経済部	コミュニティ推進課		
030122		グループ	国際交流			
開始年度 平成 8 年度 → 終了年度 平成 年度						

事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
分野別計画・指針				
関連・類似事業				
総合計画の体系	政策	第7章 人々がふれあう温かいまち	施策	5節 国際化社会
			中柱	3 国際交流活動の促進
			小柱	(1) 姉妹都市等との交流
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 42 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○	

行政改革大綱における行動計画への位置づけ	コード	3311	人 材 育 成 基 本 方 針 の 見 直 し
事業開始の背景	姉妹都市(中国・常州市、韓国・安養市)締結を契機に、両市との親善と効果的な友好交流を推進するため、行政職員の相互交流が始まった。		

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に) 派遣先都市の都市行政組織や仕組みなどを比較研究し、良い点を本市の行政に活かす。 対象(誰を、何を対象としているのか) 市職員	利用数の考え方 派遣職員数								
	対象数	単位	平成 18 年度	0	人	利用数	単位	平成 18 年度	0	人
			平成 19 年度	2,673	人			平成 19 年度	4	人
事業の具体的な内容及び実施方法 当市から相手都市を訪問する派遣事業については、隔年で実施しており、3日間の日程で、特筆すべき部門や事項などを調査・研究するとともに、人的な繋がりも深めることによって、今後の友好交流が円滑に進む。また、受け入れ事業については、該当市の良い所、特徴のある箇所を積極的にアピールできる。										

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
平成19年度中に改善した点 平成15年度より隔年(奇数年)実施となったが、20年度より毎年実施とし、中国・常州市、韓国・安養市へは交互(隔年)に訪問することとなった。	

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		0	765	540
	決 算 (見込み含む)		0	755	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人) (人) (人)			
	正規職員人件費	0.34 人	3,128	0.25 人	2,349
	公債費				
	事業費合計		3,128	3,104	
	財源内訳	一般財源	3,128	3,104	540
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
市民一人当たり(単位:円)			9.3	9.2	
利用数一単位あたり(単位:円)			#DIV/0!	775,875.0	

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	常州市への行政職員の派遣	訪問団の派遣職員数	人	0	2	0	2
		安養市への行政職員の派遣	訪問団の派遣職員数	人	0	2	2	2
	成果分析	姉妹都市間の行政視察団の数	派遣・受け入れ回数	目標値	10	10	6	7
実績				5	4	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2		
% 達成率				50.0	40.0			

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input checked="" type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無
<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
明らかとなった課題		多くの職員に姉妹都市の実情に触れる機会を与えるため、派遣対象となる職員の拡大を図る必要がある。行政職員の派遣は、行政視察以外にも姉妹都市との人的交流などによる継続的な友好交流の土台となることから、継続していく必要がある。		
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	派遣職員対象の見直し	リーダー級職員まで対象の拡大を検討	
	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	評価理由	
市の職員が姉妹都市を訪問することで国際的な視野における行政運営の基礎づくりが期待できる。又、姉妹都市間の交流活動を推進するためには、市職員が親善大使としての任務を担う必要がある。				
評価日	平成20年5月13日	記入者職氏名	コミュニティ推進課長 本田静香	

⑨個別計画における方向性	一次評価	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	評価日					
⑩次世代育成支援行動計画	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		評価理由	評価日				C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード			
⑩次世代育成支援行動計画	基本目標					
	主要課題					
	施策の方向					
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード			